



フランス語 « JUSTEMENT » の意味 — 形容詞 JUSTE の副詞から談話標識まで

日本ロマンス語学会第 58 回大会 2020年5月16日
東京外国語大学大学院博士前期課程 谷澤まどか
mail: tanizawa.madoka.t0@tufs.ac.jp

東京外国語大学大学院博士前期課程に所属しております、谷澤まどかです。
本発表ではフランス語の副詞 « justement » の意味について話し言葉での用法
について発表させていただきます。
よろしく申し上げます。

発表の流れ

- 辞書の定義
- 先行研究での*justement*の分類
- 先行研究の問題点
- 本研究の課題
- *Justement*の意味
- 使用データ
- 考察
- 課題
- 参考文献

発表の流れはこのようになっています。

Trésor de la langue française informatisé (TLFi)

Trésor de la langue française (TLF)

- 19世紀～20世紀
- フランス言語語辞典
- 全16巻
- 初巻1971年、終巻1993年
- 編纂
 - Paul Imbs
 - Bernard Quemada
- Trésor de la langue française informatisé (TLFi)
- TLF→オンライン版
 - Analyse et traitement informatique de la langue française (ATILF) - CNRS & Université de Lorraine
 - <http://atilf.atilf.fr/tlf.htm>

まずTrésor de la langue française informatisé という辞書における定義を見ました。以下TLFiと呼びます。
TLFiというのは、元々Trésor de la langue française という紙媒体の辞典のオンライン版です。Trésor de la langue française はPaul ImbsとBernard Quemadaにより編纂された、全16巻からなる19世紀～20世紀のフランス言語辞典です。フランス国立科学センター-Centre national de la recherche scientifique(SNRS)とロレーヌ大学Université de Lorraineの共同によりTrésor de la langue françaiseがオンライン化され、TLFiとしてAnalyse et traitement informatique de la langue française (ATILF) のホームページにて一般に公開されています。
スライド右にありますのがこの辞書にて « justement »という語を引いたものです。この辞典では、まず語の定義と例文があり、その下に語の発音と歴史、語の派生について記述されています。

→JUSTEMENT, adv.

○形容詞« juste » ; 副詞接辞 -ment

◆A. [P. réf. à **justice**]

1. Conformément à la justice. 公正さに合致して
2. Légitimement, à juste titre. 正当な資格で、当然

◆B. [P. réf. à **justesse**]

1. Conformément à la réalité. 現実性に合致して
2. [Marque une coïncidence, une corrélation] Précisément. 正確に、的確に
3. [Avec une valeur restrictive] Seulement, à peine. ただ～、ほとんど～ない
[制限用法] cf. Beeching (2017)

TLFiにて本研究の対象語彙である«justement»を引いた結果によると、この語は形容詞 juste から副詞接辞 -mentをともない派生した副詞であり、大きく2つの価値をもっています。

一つ目の価値は、「« justice »に合致して」という意味です。これには2つの下位項目が記述されており、1つ目は「公正さに合致して」2つ目は「正当な資格で、当然」とあります。さて、二つ目の価値は、「« justesse »に合致して」という意味です。これは三つ目の下位項目が記述されており、まず1つ目は「現実性に合致して」、2つ目は「(一致、相関関係を示し) 正確に、的確に)」そして3つ目は« avec une valeur restrictive » (制限の価値を伴って) すなわち、日本語に訳するならば、「ただ～、ほとんど～ない」と訳すことができる意味を持っています。

この3つ目の制限の価値を伴う用法についてはBeeching (2017)にて主に言及されており、それによると英語との借用の中で生じた意味とされています。よって本研究ではこの用法について詳しく述べることはさけ、Beeching (2017)において述べられていることをまとめ紹介することにとどめさせていただきます。

制限用法

Beeching(2017)

- 1400年頃 フランス語 « juste » adv. (exactly, precisely, directly) → 英語 « just »
- 1660年代 英語 « just » adv. (purely, simply, only, scarcely) [制限用法]
- フランス語へ
« justement » の用法にも広がる

- **強調して言うものあるいは控え目に言うものになりうる。** “ぴったり” / “ギリギリ”
« Pradoxically, perhaps, just can be **intensifying (just terrible)** or **downplaying (just a little)**. »

(Beeching 2017 : 467)

- **肯定的あるいは否定的な価値付けを伴う用法**

« ... adverbial just can travel, namely, '**more than exact**', '**precise**' usages *juste à côté*/'right next to' and '**less than exact**' restrictive usages ('merely') *juste un petit peu* 'just a little'. »

- ・ 「超正確」、「精密な」 ex. *juste à côté* 「真横」
- ・ 「正確というに満たない」 ex. *juste un petit peu* 「ほんの少しの」

(Beeching 2017 : 467)

5

制限の価値をともなう«justement»の用法ですが、Beeching(2017)によると、1400年頃、フランス語の副詞«juste»は(exactly, precisely, directly)という価値をもっており、それが英語に«just»という形で借用されました。その後、英語の中で強調して言う用法(“ぴったり”)と控え目に言う用法(“ギリギリ”)という両極的な価値を持つようになり、1660年代には英語において«just»adv.が(purely, simply, only, scarcely)といった意味を獲得しました。この制限用法はフランス語の«juste»の用法にも表れるようになり、「juste»に肯定的な価値づけ**‘more than exact’, ‘precise’ usages** *juste à côté*/'right next to' 「超正確」、「精密な」(ex. 「真横」)、否定的な価値づけ**‘less than exact’ restrictive usages** ('merely') *juste un petit peu* 'just a little'. 「正確というに満たない」 ex. 「ほんの少しの」)を伴う用法が付与されました。この否定的な価値づけを伴う用法はフランス語の«justement»にも広がりました。(seulement, à peine.) 「ただ～、ほとんど～ない」

Justement

- ① « conformément à la justice » (公正に、公平に)
- ② « conformément à la justesse » (的確に、正確に、ふさわしく)

◦ Bruxelles et al. (1982)

Justement « pragmatique » 語用論的な用法

これまで見てきた辞書での定義における«justement»についてまとめますと、この語は形容詞 juste から副詞接辞 -mentをともない派生した副詞で、英語からの逆借用による制限用法を除くと、大きく① «conformément à la justice» (公正に、公平に) ② «conformément à la justesse» (的確に、正確に、ふさわしく) の意味があります。ただし、Bruxelles et al. (1982)は辞書に見られるこれらの意味を持つ«justement»を«descriptif»描写的用法とし、それとは別にJustement«pragmatique»語用論的な用法があることを指摘しています。次にこの語用論的な用法を含め先行研究で«justement»について述べられていることについてみていきたいと思います。

先行研究での*justement*の分類

Bruxelles et al. (1982)

◦ Justement の用法を二分

- **Justement « descriptif »**（描写用法）
- **Justement « pragmatique »**（語用論的用法）

Bruxelles et al. (1982)では「justement」をまずJustement « descriptif »（描写用法）とJustement « pragmatique »（語用論的用法）に二分し主として、Justement « pragmatique »（語用論的用法）について言及しています。

Bruxelles et al. (1982)

◦ **Justement «descriptif »**

→” 辞書の定義” 「正当な/公平な」、「的確な/正確な」

[統語的特徴] (Bruxelles et al.1982:151-152)

◦ « de manière juste »によってパラフレーズ可能

(1) J'ai été **justement** puni. → (1a) J'ai été puni **de manière juste**.
(私は正当に罰せられた) (私は正当な方法で罰せられた)

◦ « très »によって修飾可能

(2) Comme tu l'as **très justement** remarqué...
(君がそのことを非常に的確に指摘したように、...)

◦ 強調構文« c'est...que »による焦点化可能

(1) J'ai été **justement** puni. → (1b) **C'est justement que** j'ai été puni.
(私は正当に罰せられた) (私が罰せられたのは正当なものであった)

まず、Justement «descriptif » (描写用法) について再度説明しておきますと、辞書の定義にあるような「正当な/公平な」、「的確な/正確な」というような意味を持ち、動詞の様態を修飾するようなものを指しています。また Bruxelles et al. (1982)ではこの描写用法は以下のような統語的特徴を持っていると指摘しています。

« de manière juste »によってパラフレーズ可能

J'ai été **justement** puni. → J'ai été puni **de manière juste**.
(私は正当に罰せられた) (私は正当な方法で罰せられた)

« très »によって修飾可能

Comme tu l'as **très justement** remarqué...
(君がそのことを非常に的確に指摘したように、...)

強調構文« c'est...que »による焦点化可能

J'ai été **justement** puni. → **C'est justement que** j'ai été puni.
(私は正当に罰せられた) (私が罰せられたのは正当なものであった)

Bruxelles et al. (1982)

◦ **Justement « pragmatique »**

◦ Justement « descriptif »の統語的特徴を有さないことにより弁別

◦ **« inverseur argumentatif » : 逆転論証**

(3)

L: Je n'épouserai pas ce type, je ne veux pas finir mes jours en rase campagne.

こんなやつと結婚なんてしないわよ、何もない野原の真ん中で人生終えたくないもの

I: Pourtant, tu devrais aimer la campagne, tu y es née.

でも田舎好きでしょ？田舎生まれなんだから

L: **Justement.**

だからこそ（田舎が嫌いなの）よ。

↑対話者が話者は田舎が好きであると想定するのに対して反対の意であることを示す

一方、Justement « pragmatique » は Justement « descriptif »の統語的特徴を有さないことにより弁別されます。

この用法には« inverseur argumentatif »逆転論証という特徴があると述べています。

以下の対話例をもって説明いたしますと、IがLに対してLは「田舎生まれなので田舎が好きに違いない」という趣旨の発話をします。これに対しLはjustementのみで応答をしています。ここでのjustementの意味は「IによるLが田舎が好きに違いないという論証に対し、むしろそれとは逆で田舎が嫌いである」となります。このようなjustementの用法をBruxelles et al. (1982)では« inverseur argumentatif »逆転論証と呼びjustementの語用論的な用法として挙げています。

« Avec le justement inversuer, le locuteur récupère le discours de l'autre en le faisant servir à de nouvelles fins argumentatives. »

逆転用法のjustementでは話者は対話者の談話を新しい論証の結果とするために引き出す。 (Bruxelles et al.1982:163)

Bruxelles et al. (1982)

◦ **Justement « pragmatique »**

◦ **coïncidence argumentative** » 一致論証

(4)

I : Alexis veut te voir.

アレクシが君に会いたがっているよ。

L: **Justement**, j'allais lui téléphoner.

ちょうど、彼に電話しようとしていたところだったよ。

« Justement signale ici un type particulier de coïncidence, la coïncidence argumentative »

ここではjustementは<一致>という特殊な型を示している(一致論証)。

(Bruxelles et al.1982:163)

Justement « pragmatique » には先ほどの例のように「justement」単独で対話者の発話を逆手に取るような用法の他に、「justement」の後ろに文を後続させ、対話者の発話に対し何かしらの<一致>をしめす用法、「coïncidence argumentative」一致論証があるとBruxelles et al. (1982)は指摘しています。

以下の例をご覧ください。Iの「アレクシが君に会いたがってるよ。」という発話に対し、Lが「ちょうど、彼に電話しようとしていたところだったよ。」というように述べています。ここでの「justement」は日本語に訳すのなら「ちょうど」に当たり、Iの発話内容とL自身が考えていた内容に<一致>（「アレクシというまさにその人に電話しようとしたいたところに、相手もの自分に会いたがっているという情報を得た」）があることを示しています。

Bruxelles et al. (1982)はこの一致論証という用法の存在を指摘するものの、用例が少なく<一致>という特殊なタイプのものとして示しています。

Serça (1996)

- **« justement »は対話者の発話の再適応を示す**

« justement marque réappropriation du discours de l'autre. » (Serça,1996: 31)

- **« justement »は前述の論証に対し反対の意味に向かう応答も同一方向に向かう応答も挿入しうる。**

« justement peut introduire à la fois une réplique allant dans un sens opposé et une réplique allant dans le même sens que l'argumentation qui précède. » (Serça,1996: 31)

(5)

I: Viens à ma soirée, il y aura sûrement ton copain Paul car j'invite sa femme.

(パーティにおいでよ、おそらく友達のポールもいるはずだよ、彼の奥さんを誘っておいたからね。)

L:

a. Justement, cette fille, je ne la supporte pas.

(だからこそ行きたくない、その女性には耐えられない)

b. Justement, cette fille, j'avais envie de la rencontrer.

(それなら行くよ、その女性とは知り合いたかったんだ)

c. Justement, cette fille, je l'ai rencontrée hier au soir chez Renée.

(そういえば、その女性とは昨日ルネの家で会ったよ)

(Serça,1996: 31)

12

Bruxelles et al. (1982)によるJustement « descriptif » (描写用法)、Justement « pragmatique » (語用論的用法) という分類のもとにJustement « pragmatique » (語用論的用法) の用法について考えを進めたのがSerça (1996)です。

Serça (1996)によると「justement」は対話者の発話の再適応を示すこと、また「justement」は前述の論証に対し反対の意味に向かう応答も同一方向に向かう応答も挿入しうるということを指摘しています。

以下の例をもって説明します。Iの「パーティにおいでよ、おそらく友達のポールもいるはずだよ、彼の奥さんを誘っておいたからね。」という発話に対するLの応答を考えたとき、Justement « pragmatique » (語用論的用法) に後続する文として、

a. Justement, cette fille, je ne la supporte pas. (だからこそ行きたくない、その女性には耐えられない)

b. Justement, cette fille, j'avais envie de la rencontrer. (それなら行くよ、その女性とは知り合いたかったんだ)

c. Justement, cette fille, je l'ai rencontrée hier au soir chez Renée. (そういえば、その女性とは昨日ルネの家で会ったよ)

を挙げることができます。a.ではIの「奥さんを誘っておいた」という発話に対し、「justement」にマイナスの評価付けをする文を後続させIの誘いを断る

(反対の意味に向かう) 応答をしています。b.では、a.とは反対にIの「奥さんを誘っておいた」という発話に対し、「justement」にプラスの評価付けをする文を後続させIの誘いによる(同一方向に向かう) 応答をしています。さらにc.ではIの「奥さんを誘っておいた」という発話に対し、評価付けはせず「justement」に新情報を後続させています。このように「justement」は対話者の発話を引き、その発話内容と自身の立場や発話の関係性を結びつける機能をしており、その際、相手の発話意図からは独立した相手の発話と「a.反対方向に向かう」、「b.同じ方向に向かう」、「c.全く違う線上の情報を含む」 応答を挿入します。

Sonia, F. (2010a) (2010b) (2012)

Justement 1: adverbe de constituant (文構成素副詞)

« justice » / « justesse »

Justement 2: adverbe d'énonciation (発話副詞)

時、場所、会話の主題における « coincidence » 一致を示す

Justement 3: adverbe de phrase (文副詞)

*exactement, oui, tout juste*により書き換え可能、断定的な返答

Justement 4: adverbe inverseur (逆説副詞)

*c'est pour ça*と言い換えられる

Gomez-Jordana Sonia FeraryはBruxelles et al. (1982)、Serça (1996)による « justement »の用法分類をもとに4つの用法があるとまとめています。

Sonia,F.(2010a)(2010b)(2012)

Justement 1 : adverbe de constituant (文構成素副詞)

▪ Justement « descriptif » (描写用法) cf. Bruxelles et al.(1982)

▪ 意味 : justesse (正確な、的確な) justice (公正な、公平な)

(6)

- Il a agi **justement**.
彼は的確に行動した。

(Sonia,F.,2010b:207)

Justement 1 : adverbe de constituant (文構成素副詞)

Bruxelles et al.(1982)でいう Justement « descriptif » (描写用法) に当たり、justesse (正確な、的確な) justice (公正な、公平な) に合致するという意味を持ち副詞として機能します。

- Il a agi **justement**.
彼は的確に行動した。

Sonia, F. (2010a) (2010b) (2012)

Justement 2: adverbe d'énonciation (発話副詞)

- ・時、場所、会話の主題における<一致>を示す

(7) – salut, David. C'est juste un petit bonsoir.

やあ、ダヴィッド。ちょっと夜の挨拶をしにね。

– ah ! nous parlions de vous, **justement**.

おお！ちょうどあなたの話をしていたところだったよ。

(Pierre Moinot, Le guetteur d'ombre, 1979, p. 134-135)

(7a) **Justement**, nous parlions de vous

(7b) ah ! **tiens !** nous parlions de vous, justement / **Ah ! tiens, justement**, nous parlions de vous.

(7c) Parlez-vous de nous ? (??) **Justement**

Justement 2: adverbe d'énonciation (発話副詞)

- ・時、場所、会話の主題における<一致>を示す用法です。

例では時の一致を示しています。

(7) – salut, David. C'est juste un petit bonsoir.

やあ、ダヴィッド。ちょっと夜の挨拶をしにね。

– ah ! nous parlions de vous, **justement**.

おお！ちょうどあなたの話をしていたところだったよ。

(Pierre Moinot, Le guetteur d'ombre, 1979, p. 134-135)

このjustementは例のように相互的な発話ターンの交替によってなされる対話においてみられます。

Justment を(7a)のように文頭に置くこともでき、さらには(7b)のように Tiensといった聞き手の注意を引く語とともに用いられることもあります。ただし、(7c)のように質問に対する応答となることはできないとされています。

(7a) **Justement**, nous parlions de vous

(7b) ah ! **tiens !** nous parlions de vous, justement / **Ah ! tiens, justement**, nous parlions de vous.

(7c) Parlez-vous de nous ? (??) **Justement**

Sonia, F. (2010a) (2010b) (2012)

Justement3: adverbe de phrase (文副詞)

- *exactement, oui, tout juste*により書き換え可能

(8) il chercha ce qu'il pourrait encore demander, mais sans succès.

– Vous voudriez peut-être connaître son grade ? demanda Chantal.

「もしかして彼の階級を知りたいのですか？」とシャンタルが尋ねた。

– **Justement.** C'est ça. Quel est son grade ?

「はい、そうです。彼の階級は何ですか？」

– simple soldat.

「兵卒ですよ」

(Raymond Queneau, *Le dimanche de la vie*, 1952, ii, p. 28-29)

(8a) **oui / exactement / tout juste.** C'est ça. Quel est son grade ?

Justement3: adverbe de phrase (文副詞)

- *exactement, oui, tout juste*により書き換え可能なものです。

Justement2同様に、相互的な発話ターンの交替によってなされる対話においてみられます。

(8) il chercha ce qu'il pourrait encore demander, mais sans succès.

– Vous voudriez peut-être connaître son grade ? demanda Chantal.

「もしかして彼の階級を知りたいのですか？」とシャンタルが尋ねた。

– **Justement.** C'est ça. Quel est son grade ?

「はい、そうです。彼の階級は何ですか？」

– simple soldat.

「兵卒ですよ」

(Raymond Queneau, *Le dimanche de la vie*, 1952, ii, p. 28-29)

(8a) **oui / exactement / tout juste.** C'est ça. Quel est son grade ?

Sonia, F. (2010a) (2010b) (2012)

Justement 4: adverbe inverseur (逆説副詞)

- « inverseur argumentatif » : 逆転論証 cf. Bruxelles et al. (1982)
- c'est (bien) pour çaと 言い換えられる

(9)

le Malade : non, non, je vous en prie. n'ouvrez pas ! いやいや、お願いしますよ、開けないでください！

Corte : Mal aux yeux ? 目が痛いのですか？

le Malade : non. いや、そうじゃなくて。

Corte : Vous verriez au moins un peu de verdure. (でも窓を開ければ)、少なからず草木が少し見えますよ

le Malade : **Justement.** だからこそ (開けてほしくないの) です。

Corte : Vous n'aimez pas la verdure ? 草木が嫌いなのですか？

le Malade : Je hais la verdure. J'exècre les arbres, J'abomine les fleurs. Cela vous semble étrange ?

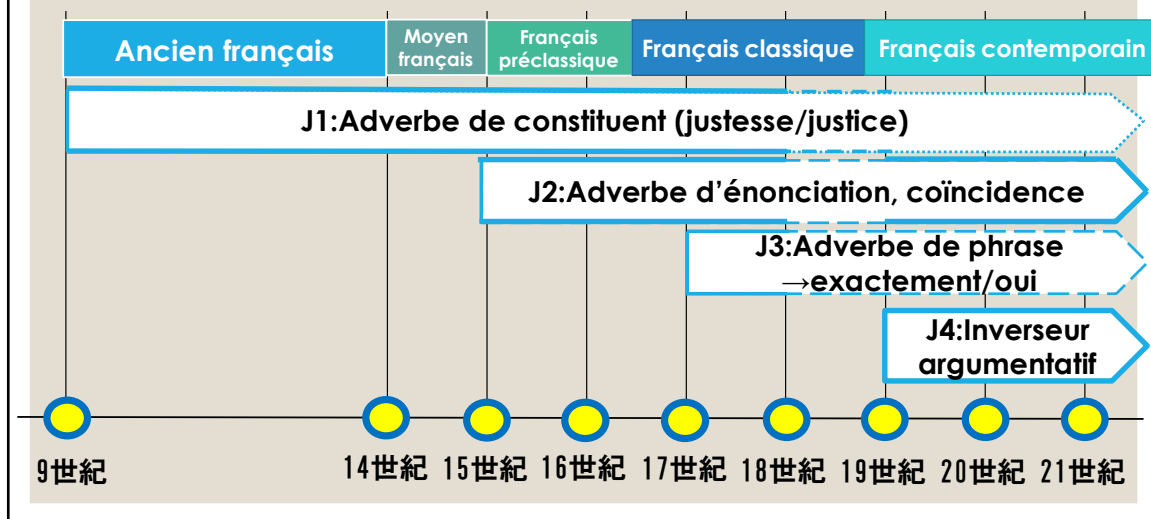
嫌いですね、木々が本当に嫌いなんです。花々も大嫌いです。あなたには変に思われるでしょうけど。

(albert Camus, Un cas intéressant, 1955 (adapt.), p. 693-694)

Justement 4: adverbe inverseur (逆説副詞)

- Bruxelles et al.(1982)でいう Justement « inverseur argumentatif » : 逆転論証 に当たります。
- c'est (bien) pour çaと 言い換えられる

Gomez-Jordana Ferary(2010a)(2010b)



Sonia, F. (2010a)(2010b)(2012)はFrantexteという16世紀から現在までの文学作品と中心としたフランス語書き言葉コーパスをもとに、justementの各用法の使用を調査しました。各用法の出現時期を図にまとめてみました。点線部分は使用が減少していることを表しています。こうしてみると、9世紀から14世紀終わりまではjustement 1（「公正に」、「正確に」という意味を持つ文構成副詞）の使用しか見られません。その後語用論的な用法の使用が見られるようになり、19世紀以降では語用論的な用法の使用はみられるものの、justement 1の使用はほとんど見られないようになっています。

Justement « pragmatique » (語用論的用法) について

- 「公正に」、「正確に」という元の意味は持っていない
- 前述の発話を利用する
cf. Garcia, C. (1983), Serça (1996), Gomez-Jordana Ferary(2010a)(2010b)(2012)
- 前述の論証に対し反対の意味に向かう応答も同一方向に向かう
応答も挿入しうる。Serça (1996)
- justementという副詞を発話することを正当化する
(Sonia,F.,2010a:406)

Justement « pragmatique » (語用論的用法) の特徴についてまとめると、「公正に」、「正確に」という元の意味は持っておらず、動詞の修飾はしません。

前述の発話、文脈を利用するという特徴があり、

cf. Garcia, C. (1983), Serça (1996), Sonia,F.(2010a)(2010b)(2012)

前述の論証に対し反対の意味に向かう応答も同一方向に向かう応答も挿入しうる。Serça (1996)

Sonia,F.(2010a)(2010b)(2012)ではjustementという副詞を発話すること、すなわち発話行為を正当化する機能があると述べています。

先行研究の問題点

- Justement « pragmatique »（語用論的用法）についてのみ言及
- Justement « descriptif »（描写用法）と Justement « pragmatique »（語用論的用法）のつながりは説明されていない
- 発話形態が対話の例のみ観察
- 話し言葉での justment の観察は十分に行われていない

先行研究では、justement の元々の意味・機能を Justement « descriptif »（描写用法）とまとめ justement « pragmatique »（語用論的用法）からは完全に切り離し、Justement « pragmatique »（語用論的用法）の分析に焦点を当てていました。Justement « descriptif »（描写用法）と Justement « pragmatique »（語用論的用法）のつながりについてはほとんど説明されていません。Sonia, F. (2010a)(2010b)による justment の各用法の使用に関する通時的な分析において、意味を持ち、動詞の様態を修飾するような用法の使用が徐々に減少し、語用論的な用法、とりわけ exactement や oui に代わり相手の発話に同意を示す用法（justment3）や相手の発話を再利用し逆の論証をする用法（justement4）の使用が増加していくのを考えると、justement の意味、文法機能が変化しているのは容易に想像がつきますが、未だそれについて言及されていません。

また、先行研究に挙げられた語用論的な用法というのは発話形態が対話の例を主に扱っています。対話の観察と言っても、文学作品における会話場面の描写を引いていることが多く、話し言葉のデータを使用している観察は十分に行われていません。話し言葉では、発話ターンが相互に交替される場合ばかりではなく、対話者がいても一人の話者が発話ターンを維持しつづけたら、逆に対話者が発話途中に割って入り、発話ターンを奪う場合もあります。その場合の justment の用法の記述は見落とされているといえるでしょう。

本研究の課題

- 「justement」の「juste」から派生した副詞としての用法が持つ意味を見直し、文法化の過程でその変化を考察する
- 話し言葉における「justement」の用法を記述する

本研究の課題は以下の2点です。一つ目は「justement」の「juste」から派生した副詞としての用法が持つ意味を見直し、文法化の過程でその変化を考察すること2つ目は話し言葉における「justement」の用法を記述することです。

文法化

- **内容語(content words)から機能語(function words)への変化のプロセス**

« When a content word assumes the grammatical characteristics of a function word, the form is said to be "grammaticalized" » (Hopper & Traugott 1993:4)

- **内容語(content words) :**

語彙項目（名詞、動詞、形容詞）物事や行動、質について報告したり記述したりする語

- **機能語(function words) :**

前置詞（名詞相互の関係を表す）、

接続詞（談話の部分部分をつなぐ）、

代名詞/指示代名詞（談話中の実体や参加者がすでに前の文脈に出てきたかを示す）

文法化とはHopper & Traugott（1993）の引用を踏まえ簡単に説明しますと、文法化は内容語(content words)から機能語(function words)への変化のプロセスです。

内容語(content words)とは語彙項目（名詞、動詞、形容詞）物事や行動、質について報告したり記述したりする語のことです。

機能語(function words)とは前置詞（名詞相互の関係を表す）、接続詞（談話の部分部分をつなぐ）、代名詞/指示代名詞（談話中の実体や参加者がすでに前の文脈に出てきたかを示す）のような語を指します。文法化の過程では、

意味の一般化（語彙項目が文法化するにつれて、その意味の分布が広がり、多義になる）や**漂白化(bleaching)**：意味の弱化または消失 が起きるとされています。今回の場合、justement は元来、副詞で動詞や形容詞などの様態を表す内容語なのですが、先行研究の結果に見たように、語用論的な用法ではもともとの意味は持っておらず、前述内容に対する応答自体あるいは、前述内容に対する自分の発話の方向付けをするような機能的な面を見せていたので、機能語への変化が起きていると考えられます。

主観化(subjectification)と間主観化(intersubjectification)

- 客観的な意味から主観的な意味への変化

"the mechanism whereby meanings come over time to encode or externalize the speaker/writer's perspectives and attitudes as constrained by the communicative world of the speech event, rather than by the so-called 'real-world' characteristics of the event or situation referred to"

- 状況や出来事を参照するのが特徴である現実世界によるというよりはむしろ、話すことによるコミュニケーションの世界により規制されるような話者や書き手の視野や態度を意味が記号化したり具体化したりするようになる仕組み

(Traugott,2003:126)

- 主観化：話者の態度や視点を表現する意味の発展
- 間主観化：話者の自身のイメージに向く注意 (Traugott,2010:30)

また、文法化の過程で意味に見られる変化の中に主観化(subjectification)と間主観化(intersubjectification) があります。Justementの分析にもかかわってくるのでここで用語を簡単に説明しておきます。主観化(subjectification)と間主観化(intersubjectification) とは、客観的な意味から主観的な意味への変化のことで、(Traugott,2003:126)では以下のように定義づけられています。「状況や出来事を参照するのが特徴である現実世界によるというよりはむしろ、話すことによるコミュニケーションの世界により規制されるような話者や書き手の視野や態度を意味が記号化したり具体化したりするようになる仕組み」

主観化と間主観化の違いは何かというと、主観化は話者の態度や視点を表現する意味の発展のことを指し、間主観化は話者の自身のイメージに向く注意ということで、対話者との関係におけるものになります。

Trésor de la langue française informatisé

→JUSTE:語の歴史

A. Conforme à la justice.

12世紀前半	神の裁き、神の要請に従う
1283	法、定められた規則に従う
1284	正当性が証明された
1470	当然の
1559	褒賞に値する

すでに正当化された規則

根拠による正当化が理に
なっていること

B. Qui a de la justesse.

14世紀後半	ぴったりの（服）
1484	正確な（手段、手法）
1595	事実、理由に一致して
1668, 26 juill.	正確な、適切な
1657-62	正確な、明確な
1625	ぎりぎり足りている
1671, 11 mars	よく評価された、精密さを伴って

事実、現実に完全に合致

状況・目的などに調和

調和からは少し外れた

Justementのもとの意味をとらえなおしていくのですが、Justementは冒頭で述べたように、形容詞justeから派生した語です。Justementの意味の変化にjusteの意味の変化がかかわっている可能性は大いにあると思います。そこで、Trésor de la langue française informatiséにおいてjusteの語の歴史の項目を見てみました。

« justice »と « justesse »の二つの価値を持っているjusteおよびjustementですが、「justice」の方が「justesse」より出現が早いことがわかります。

また、それぞれの意味をみると、時代とともに「justice」と「justesse」が示しているものが変化しています。すなわち、「Conforme à la justice.」の方では「justice」（正しさ）とされるものが初期では「神の要請」「法」「定められた規則」つまり、すでに正当化された規則がありそれに従うか否かというのが“正しさ”を意味しているのに対し、その後の時代になると完全に正しいとされる規則はなく、“正しさ”を主張するために根拠による正当化が理にかなっていることへと“正しさ”を示すもの、過程が変化していることが考察できます。

« Qui a de la justesse. »の方では、「事実、現実に完全に合致」していることを表していたのが、文脈が現れ「状況・目的に調和」していることを指すようになり、[制限用法]で見たような「調和からは外れ、満ち足りてはいない」というマイナスの価値づけを持つものに変化しています。これは意味を

かみ砕いてみたときの憶測にすぎない上、justeのこの意味変化がすべてjustementの意味変化と合致していることを表しているわけではないので実際の使用例を見る必要性は否めません。ただ、「juste」という語の意味を見直したことでこの語の根本的意味は「何かと何かを突き合わせ、そこに<（抽象的・具体的）一致>があることを示す」なのではないかという発想を得ることができました。

« juste »から派生した副詞としての « justement »

10. J'ai été justement puni. 私は公正に罰せられた。 [罰 / 法]
11. Ses efforts ont été justement récompensés. 彼女の努力は正当に報われた。
[結果 (報われる) / 努力]
12. Ils sont justement mécontents. 彼らが不満なのは当然だ。 [不満である / 根拠 (文脈)]
13. Elle chante justement. 彼女は正確に (音程を外さずに) 歌う [歌う / 音程 (規則)]
14. Il vient justement de partir. 彼はちょうど (的確な時に) 出発したところだ。 [出発した時 / 文脈]
15. Je dois justement vous voir demain. 明日ちょうどあなたに会わないといけない。
[会う / 明日であるという理由 (文脈)]
16. On parlait justement de vous. ちょうどあなたについて話していたところだよ。
['あなた'について話す / あなたが来る (文脈)]
- Le grand Robert de la langue française(2001)

「何かと何かを突き合わせ、そこに< (抽象的・具体的) 一致 >があることを示す」という « juste »の意味機能に対する予測をもとに、Le grand Robert de la langue française(2001)におけるjustementの例文のいくつかを見直してみました。例文の横に何と何が突き合わされているのか、左に結果、右に照応するものを書きだしました。

水色に塗った部分は「法」「規則」といった正しいとされる規範がすでに明確なものです。これらは文中において直接説明されることはほとんどないと考えられます。色がついていない(11)については両要素が文中に現れています。すなわち、「結果 (報われる)」理由として「努力をした事実」が示されています。次に黄色に塗った部分を見たいと思います。これは結果のみが文中に出ているものの何と照応して一致を示しているのかが文中に現れず、文脈にあると考えられるものです。さらにその文脈について考えてみると、(12)は不満になる「具体的な出来事」とであると予想されるのに対し、(14)~(16)は何か具体的な出来事というよりは話者にとって的確なタイミングであるという主観的な文脈であると予想されます。

Trésor de la langue française informatisé

→ JUSTEMENT, adv.

- D'une manière **juste**. (« **juste** »なやり方/方法で)
 - A. [P. réf. à justice]
 - 1. [**Correspond à juste** | A 2 a] Conformément à la justice.
 - 2. [**Correspond à juste** | A 2 b] Légitimement, à juste titre.
 - B. [P. réf. à justesse]
 - 1. [**Correspond à juste** | B 1] Conformément à la réalité.
 - 2. [**Marque une coïncidence, une corrélation**] Précisément.
 - [En début de phrase]
 - À ce moment précis
 - Il se trouve précisément que.
 - 3. [Avec une valeur restrictive]
 - Tout justement. Synon. vieilli de tout juste (v. juste II A 4). Seulement, à peine.

Trésor de la langue française informatiséのjustementの定義の中で照応する（根拠を示す）部分が文脈にあり、その文脈というのは話者に起因する主観的な例(14)~(16)の定義を見ると<一致><相関関係>を示すという用法でこの用法はjusteの用法とは重なっていません。言い換えるならば、justementの« juste »から派生した副詞としての用法はこれ以上のものまでで、この用法からは文脈、談話レベルで要素をつなぐコネクター的な用法となっていると考察できます。

話し言葉におけるjustement

ここからは話し言葉におけるjustementの用法を見たいと思います。

使用データ

- Orféo(Outils et Ressources sur le Français Ecrit et Oral)
(フランス語書きことば・話しことばコーパス)

- 話し言葉フランス語のデータのみを使用

Orféo> Modalité : oral

- コーパスの数 : 12個
 - 話者数 : 計 2500 人
 - 語数 : 各コーパス 400 万語
 - 録音データ数 : 902録音
-
- « justement » →1663 例

話し言葉コーパス

- CORALROM (フランス)
- TCOF (フランス)
- CRFP (フランス)
- OFRON (スイス)
- Frenchoralnarrative (フランス)
- VALIBEL (ベルギー)
- TUFS (フランス*)
- Fleuron (フランス)
- CFPP (フランス*)
- Réunions de travail (不明)
- CLAPI (フランス)
- CFPB (ベルギー)

Orféoというフランス語書きことば、話しことばコーパスが複数集められた大きいコーパスを使用しました。

本研究では話し言葉コーパスのデータに絞り使用しました。話し言葉コーパスにはスライド右側にあります12個のコーパスがあり、話者数は計2500人、収録語数は各コーパス400万語、録音データ数が902録音となっております。「justement」を検索したところ1663例見つかりました。

時の一致

(17). [移民の保護施設で若者の学習を支援したいという計画について話している]...ils peuvent euh ils peuvent acquérir ces choses-là donc ça c'est ce qui est encouragé euh au niveau des enfants euh **au-delà de ça** j' ai eu euh **justement** euh la semaine dernière un téléphone avec le directeur des écoles de

彼らは、彼らは何かしら習得できるでしょう。なのでこれは児童に対してやれることで、そうしていたところにちょうど先週XX学校の校長から電話を受けて...

(OFROM > unine11c16m)

- 語り：話者が対話者に話をしている現実的な時間軸での「ちょうど」という意味ではない
- 自分の計画（学習支援）に対し、それに関わる出来事（校長からの電話）というのが話者の中では的確なタイミングで起きたという結びつきを説明している。
- « **au-delà de ça** » 「その先に」話者の中での時間の推移を示す

この録音は対話（インタビュー）ですが、一人の話者が一方的に説明をしており独話に近いものです。

前に起きたことを語る場面なので話者が対話者に話をしている（インタビューをしている）現実的な時間軸での「ちょうど」という意味ではありません。

自分の計画（学習支援）に対し、それに関わる出来事（校長からの電話）というのが話者の中では的確なタイミングで起きたという結びつきを説明しています。

« **au-delà de ça** » 「その先に」話者の中での時間の推移を示しています。

関係づけとまとめ

(18)[界限における商業施設の変化について話している]

L: [de il y a de moins en moins de commerces de bouche d'alimentation問題] et de plus en plus de banques agences immobilières traiteurs chinois

食糧品店が減っていき、銀行や中国人による不動産が増えている

.....

(訳ノート欄に記載)

L: a ah oui ça d'ailleurs bon beaucoup de gens s'en plaignent hein c'est malheureux [parce que on a une association des commerçants de l'arrondissement商業組合の話(対策)] qui est très active euh avec les artisans enfin vous voyez tous ces commerces là qui font beaucoup d'activités notamment ils font une activité enfin une manifestation tous les ans qui s'appelle les sept jours du septième [...] promenade en vélo[...] je trouve ça très bien euh ils nous permettent de faire le tour du quar~ enfin du septième [...] [tout ça pour justement attirer les gens dans les commerces de proximité faire vivre le commerce de proximité qui a du mal à survivre問題の対象を繰り返し (les commerces de proximité) 前述の内容(組合の活動)と結びつける]

(CFPP2000 > Laurence_Leblond_F_43_Stephanie_Zanotti_F_49_7e-2)

L:本当にね、しかも大勢の人が苦しんでいるのよね、不幸なことだわ。(そういえば、) 区の商業組合があってね、すごく活発なの、職人さんとまあ全ての商業が多く活動をしていて、とりわけ毎年”les sept jours du septième”という行事をやっているの[...]自転車周遊とかね、[...]それはすごくいいと思ったわ、区、7区をぐるっと見て回ることができたわ[...]こういう活動はすべて近場の商業に人を呼び寄せ、生き残りが難しくなっている近場の商業を存続させるためよ

話の流れを追うと、まず問題となっていることが話されています。[de il y a de moins en moins de commerces de bouche d'alimentation問題]次に唐突に[parce que on a une association des commerçants de l'arrondissement商業組合の話]及び以下その組合がやっている行事の話 を挿入しています。この時点ではこの商業組合の活動の話は孤立した状態になっています。その後[tout ça pour justement attirer les gens dans les commerces de proximité faire vivre le commerce de proximité qui a du mal à survivre]という発話でjustementが発話されることにここまで話した商業組合の活動の話が前述の食糧品店が減少しているという問題と結びつけられています。

« de commerces de bouche d'alimentation » 「食料品店」, « des

commerçants de l'arrondissement 「区の商業施設」 》はすべて同じものを指していますが、単独だとつながりが見えにくいのに対し、justementの後に « **les commerces de proximité** » と来ることで論理的な結びつきがされています。

まとめ（根拠が発話されていない）

(19)unifr11-cra: [農場で働く女の子が一日の流れを語る]le matin je me réveille à six heures je vais laver les machines à traire après je déjeune [...]puis euh après je fais le ménage dans le chalet[昼ご飯前に牛は外にいる] le dîner l' après-midi je suis un peu tranquille jusqu' à trois heures et demie quatre heures je dois aller traire puis le soir on rentre les vaches qui étaient dehors oh ben justement depuis environ sept heures et demie (8時ぐらいに牛を出している親がやっているかも...話者の頭の中ではつながっているが、言葉に出ていない)

(OFROM > unifr11b04m)

6時に起きて、農機具を洗って、朝食をとって、[...]その後牛小屋を掃除して、昼食をとって、午後はちょっとゆっくりするの3時半か4時ぐらいまでね、でそのあと毎晩だけど、だからだいたい7時間か7時間ぐらい外にいた牛たちを小屋に戻さないといけないの。

- 3時半か4時ぐらいの時点で牛たちは7時間か7時間ぐらい外にいたと知っているが、牛がいつ外に出せれたかは述べていない。（昼ご飯前に出されたことは予想できる）
- «justment»は前述内容からの流れで計算すると牛たちは7時間か7時間ぐらい外にいたということをいうために挿入されているが、女の子の中でのみこの関係づけは完遂しており発話の上では失敗している。

3時半か4時ぐらいの時点で牛たちは7時間か7時間ぐらい外にいたと知っているが、牛がいつ外に出せれたかは述べていない。（昼ご飯前に出されたことは予想できる）

«justment»は前述内容からの流れで計算すると牛たちは7時間か7時間ぐらい外にいたということをいうために挿入されているが、女の子の中でのみこの関係づけは完遂しており発話の上では失敗している。

具体的な説明を加える、同じ文の構造の繰り返し

◦ (20)[ミュージシャンを目指す学生の話]

MAR: j' essaierai pour euh j' essaierai tout pour y arriver de toute façon

そこに行きつくためにできることすべて挑戦するつもりだ

[...]

MAR: un ouais je pensais essayer de trouver justement un boulot et puis euh essayer un peu justement d' économiser un peu d' argent euh pour pouvoir me lancer là dedans quoi parce que bon ça demande pas mal d' argent

仕事を見つけて、節約しようと思っている。その世界に入るためにね、そのためには結構お金がかかるし

SOP: et ouais et comment on se lance うん、それでその世界に入るためにはどうするの？

MAR: voilà là dedans justement ben essayer justement d' écrire des écrire des des textes euh essayer de les envoyer à des producteurs (C-Oral-Rom > ffamdl04)

そのためには歌詞を書いて音楽事務所に送ったりするつもりだよ

◦ Tout (すべて) →具体的な内容を列挙

Essayer de X という構造を繰り返し替えておりjustementはその繰り返し事に挿入されている。Tout (すべて) と最初に抽象的なことを述べ、その具体的な内容をjustement でtoutと結びつけながら説明している。

前方照応（指示詞的な機能）

(21)[移民の保護施設を支援する事業化の話]...qui lui disait mais est-ce que vous vous ne pourriez pas dans le cadre de l' asile **justement** fournir cette prestation je dirais **pré-scolaire** où les jeunes acquièrent au moins minimum dans la communication dans la présentation je m' appelle j' habite je viens de je parle et cetera et ça de nouveau pour en revenir à ce que je te disais avant euh ça ça me semble moi plutôt être une prérogative du département de l' éducation je veux dire par contre euh et pour aussi revenir ce qu' amorce à ce que je te disais avant dans une démarche de de collaboration euh nous on pourrait par exemple fournir des locaux pour que **justement ce travail pré-scolaire** ou un petit peu préparatoire(OFROM > unine11c16m)

- Beeching(2017)により指摘されている
« *justement* thus captures identity between two items or exqctitude. »
- 前述内容と挿入する語の一致
- ceなどの指示詞やle, laどの定冠詞を伴い前述内容から同じ語を引いてくる
- 違う語で繰り返す場合がある（類義語、動詞→名詞、文（同じコンセプト））

Beeching(2017)により指摘されている

« *justement* thus captures identity between two items or exqctitude. »

前述内容と挿入する語の一致

ceなどの指示詞やle, laどの定冠詞を伴い前述内容から同じ語を引いてくる
違う語で繰り返す場合がある（類義語、動詞→名詞、文（同じコンセプト））

前方照応（指示詞的な機能）、フィラー

(22)

Laurence_Leblond: ...tout ça pour justement attirer les gens dans les commerces de proximité faire vivre le commerce de proximité qui a du mal à survivre ...

Laurence_Leblond: oui oui c' est sûr vous avez aussi oui voilà beaucoup d' étrangers qui sont là que la moitié de l' année en plus souvent qui du coup ben pour les commerces justement de proximité c' est pas une c' est pas vraiment une affaire

(CFPP2000 > Laurence_Leblond_F_43_Stephanie_Zanotti_F_49_7e-2)

前述内容に出現している複合語を再度挿入する際に、言葉が出てこず «justement»によって前方照応しつつ発話のターンをキープしている。

前述内容に出現している複合語を再度挿入する際に、言葉が出てこず «justement»によって前方照応しつつ発話のターンをキープしている。

自分もちゃんとそのことについて考えているという正当化

(23)[電話でパーティの打ち合わせをしようとしているが電話の受けてがレストランにいて音が聞き取りにくいので後でまたかけるといっている場面]

EST: d~ d' accord on se rappelle plus tard alors

じゃあ後でまた話しましょう

DEL: hein comme ça on pourra mieux discuter voilà ben à tout à l' heure alors

そうした方が、話し合いやすいはずだからね、それじゃあまたね

EST: ah euh peut-être plus en début d' après-midi parce que **c' était pour savoir pour demain ce qu' on va faire donc il faut pas euh attendre trop**

えーとできれば午後の頭にしましょ、というのも明日何をすることだからギリギリになっちゃってもね

DEL: ouais ben **justement** j' ai demandé à NNAAMMEE euh tes coordonnées pour que pour qu' on voit ensemble et euh voilà donc euh

うん、まあだからXXさんにあなたの連絡先を聞いておいたのよ、一緒に考えられるようにね

(C-Oral-Rom > ftelpv02)

相手が「明日のことなのに後で電話するといってもあまり遅いと困る（早く動いてほしいんだけど…）」という意図の発話に対し、「私も何も考えていなかったわけではなくて、明日のことをあなたと話すためにやることやってきた」という自分の正当化にjustementが使用されています。この用法はまさに相手の発話と自分の発話の間で、話者自身に対するイメージ、立場を示す機能をしており間主観性が働いていると考察します。今後ポライトネスの点からもこの用法についてみていく必要があると考えています。

考察

- *Juste* 派生の副詞としての用法ではない接続詞のようなく関係づけの機能を持つ用法が現れている
- *Justement* の「正当な」すなわち「法という規範に合致した振る舞い」という元の意味の中の「何かと何かを突き合わせ、そこに<(抽象的・具体的)一致>があることを示す」という機能的な部分において用法の拡大が進んでいるように思われる
- 照応する対象が「法」など具体的な規範が示されているものから、発話場面の文脈に、話者自身の前述内容に、対話者の発話内容に、さらには対話者との関係性にと拡大している

課題

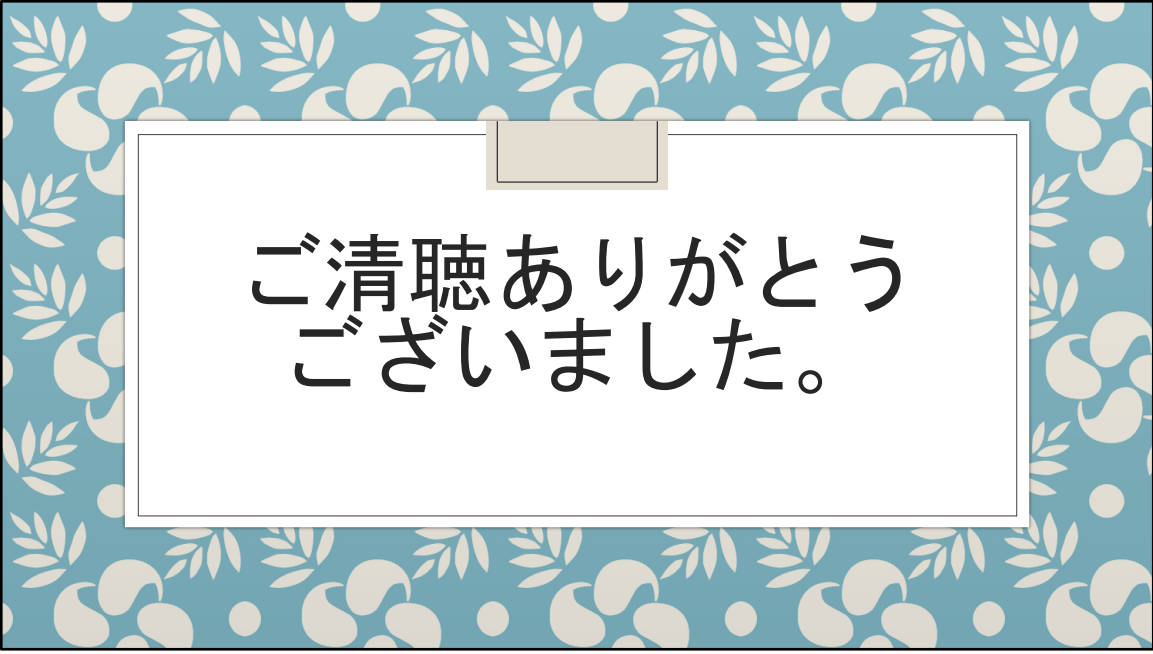
- Justementの意味の変化については実際にデータ内での使用例を分析する必要がある
- 統語的な側面の観察が不十分
- 間主観化についてより多くの例を観察する必要がある
- 発話形態の観点からも分類分けをする必要がある

参考文献

文献

- Anselme, J., Amalia, R., Sonia, F. (2012). Voix et marqueurs du discours : des connecteurs à l'argument d'autorité.
- Bruxelles, S. Dobrovie-Sorin C., Ducrot O., Fradin B. Nguyen T., Recanatì F. & Vicher A. (1982). « Justement, l'inversion argumentative », *Lexique 1*, Ad verbes en - ment, manière, discours, Danjou-Flaux & Gary-Prieur M.-N. (dir.), Lille : Presses Universitaires de Lille, 151-164.
- Christophe, B., Paul, C., Gilles, C. (2017). « Réflexions sur les exploitations différenciées de la grammaire », *Revue de Sémantique et Pragmatique* : 135-153
- Fagard, B., Degand, L. (2010). Cause and subjectivity, a comparative study of French and Italian. *Linguisticae Investigationes*. 33. 179-193. 10.1075/li.33.2.03fag.
- François, J. (2016). Justement ! Sans autre forme de procès.
- François, J. (2016). Les adverbes justement / injustement et la théorie systémique fonctionnelle de l'évaluation.
- Garcia, C. (1983). « Etude sémantique de bon, enfin, justement, de toutes manières, dans un corpus oral » essai pour la mise en place du concept explicatif de connecteur dialogique , Thèse de 3e cycle : Linguistique : Paris 7, Département de recherches linguistiques
- Hopper, P. J., Traugott, E. C. (1993). *Grammaticalization*. Cambridge [England: Cambridge University Press.

- Leemann, D.(2004): «L'emploi de juste comme adverbe d'énonciation», *Langue française* 142: 17- 30
 - Pascale, B. « Les recherches dans le Trésor de la langue française informatisé », *Tralogy*, 3 et 4 mars 2011
 - Serça, I. (1996): «À propos de justement», *L'information grammaticale* 71: 28-31
 - Sonia,F.(2010a). L'évolution diachronique des adverbes justement /justamente, apparemment /aparentemente, décidément /decididamente en français et en espagnol. *Vox Romanica*.
 - Sonia,F.(2010b). Syntaxe et sémantique: de(s) justement: continuum ou homonymie?.
 - Traugott, E. (2010). (Inter)subjectivity and (inter)subjectification: A reassessment. 10.1515/9783110226102.1.29.
 - Traugott, E. (2003). From subjectification to intersubjectification. *Motives for Language Change*. 124-140. 10.1017/CBO9780511486937.009.
 - 石野好一(1984).「逆転の副詞JUSTEMENT」『フランス語学研究』18巻1号,79-86
 - 小熊和郎(2012).「副詞 juste とその周辺」『川口順二教授退任記念論集 (https://halshs.archivesouvertes.fr/halshs-01511628)』,117-142
- 辞書・コーパス**
- Frqntext <https://www.frantext.fr/> (最終 アクセス日 2020/05/15)
 - Orféo (outils pour l'étude du Français écrit et oral) <http://ortolang107.inist.fr/?locale=fr> (最終 アクセス日 2020/05/15)
 - Le grand Robert de la langue française(2001), Paris : Dictionnaires le Robert
 - TLfi : Trésor de la langue Française informatisé, <http://www.atilf.fr/tlfi>, ATILF - CNRS & Université de Lorraine. (最終アクセス日 2020/05/15)



ご清聴ありがとうございました。